

工学研究院等技術部

技術部長挨拶

技術部長 跡部 真人(機能の創生部門 教授)

2023年度から窪田好浩先生の後任として、技術部長を務めることになりました。工学研究院等技術部は2004年度に組織の実質化が図られてから今年で20年目を迎えました。以降、高い技術力を誇る組織として、学生の教育に欠かせない実験や演習などを支えるだけでなく、工学研究院をはじめとする本学の理工系教員が行う様々な研究・開発を実現するために、力強いサポートを続けております。また、広報・安全管理・ICT関連など学内からの様々な依頼業務も引き受けております。

技術部は4つの技術班(応用分析技術班、計測制御技術班、応用加工技術班、情報・システム班)と2つの担当(教育開発担当、安全衛生管理担当)から組織されており、各技術職員がそれぞれの専門分野の技術・知識・経験を活かし、以下のような業務を行っております。

応用分析技術班では、材料・海洋分野および化学・エネルギー分野における教育・研究支援、実験・分析機器の保守管理や測定・解析・取扱の講習、安全に関わる分野の業務にあたっております。

計測制御技術班では、本学実験施設等において試験装置・計測装置による計測作業や操作指導、保守管理から安全衛生に至る業務を執り行っております。

応用加工技術班では、主に本学機械工場における加工相談、設計、試作、委託加工、講習に加え、設置工作機械類の保守管理、修理・修繕にあたっております。

情報・システム班では、電気・電子・情報分野に係る教育・研究支援、情報システム構築全般、ウェブサイト構築運用管理全般、ネットワーク構築全般、建築コンピュータデザイン、建築計画分野における研究支援、機械加工など幅広い分野における業務を行っております。

教育開発担当では、学生へのリテラシ教育やプログラミング教育を担っております。

安全衛生管理担当では、工学研究院等安全衛生委員会の事務業務をサポートしております。

また、組織の実質化以降より技術部への強い支援要請があり、各班の技術職員が連携し、ICT活用、情報システム開発・運用、ウェブサイトの管理・運用、ネットワーク構築全般などの情報系業務や、安全衛生講習会、作業環境測定などの安全衛生全般業務について数多くの実績を重ねてきております。

その他、技術部では部局、学科などの組織に縛られることなく、組織横断的な技術支援を行うため、技術研修への参加などを通して個人研鑽に励むとともに、将来を担う若手技術職員への技術の継承と指導も実施しており、工学研究院をはじめとする本学理工系部局に貢献する人材育成にも力を入れております。

工学研究院および本学理工系部局の皆様方におかれましては、技術部組織に対し、より一層のご理解とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年度より技術長を務める事になりました高橋龍太郎と申します。

横浜国立大学工学研究院等技術部は、2004年度より技術部の実質化が行われ、今年で20年目になります。現在技術部には25名の職員が所属しています。組織としては技術部長、技術長、技術長補佐と応用分析技術班、計測制御技術班、応用加工技術班、情報・システム班の4班及び安全衛生管理担当、教育開発担当で構成され、職員は担当する業務や専門性により配属されています。

技術職員の業務は教育・研究支援及び専門的業務に係る技術の管理・開発が主な業務になります。技術部では教育・研究支援をはじめとする業務を技術協力依頼により受け、各職員が対応する形を基本としています、各教員等から依頼される案件は技術相談として行い、広報業務、安全管理業務に関してはそれぞれの組織を兼務する形で業務を行うなど工学研究院の中に留まらず、様々な場所で幅広く業務に携わっています。

新しい技術や依頼に対応する為に、個々が行う技術研鑽のみならず、高度な技術を有する業務に対応できる人材育成を継続して行い、教員組織や事務組織との連携・協力を図りながら技術支援を通じて工学研究院はもとより全学の発展にも寄与できるよう尽力する所存です。関係各位にはご協力を賜りますとともに、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。